

平成28年度 大阪府立難波支援学校 第三回学校協議会 記録

1. 日時 平成29年3月6日（金） 10:00～12:30
2. 場所 大阪府立難波支援学校 校長室及び授業見学
3. 次第（＊会議に先立ち、委員による授業見学を実施）
 - (1) 開会（校長挨拶、会長挨拶）
 - (2) 協議
 - ①学校教育自己診断について
 - ②学校経営計画及び学校評価について
 - (3) 閉会（校長挨拶、会長挨拶）
4. 協議内容等での主な意見
 - ①学校教育自己診断について（別紙、学校教育自己診断結果参照）
 - ・自己診断の専門性に関する教職員の否定的な回答が8%あったが、やはり肯定的な回答が100%であってほしい。
 - ・授業でできること（力）と卒業後の生活でできること（力）は別である。保護者もそのことを理解し、卒業後を見すえて、学校と連携することが必要ではないか。
 - ②学校経営計画及び学校評価（最終評価について）
 - 【交流について】
 - ・学校間の交流では成果があると思うが、子どもたちの卒業後を見すえ、例えば放課後デイサービス事業所等との情報共有の充実など、子どもにとって具体的な情報共有の場となるような交流も検討してはどうか。
 - 【キャリア教育について】
 - ・キャリアプランニングマトリックスは興味深い。今後の状況を注視したい。
 - ・キャリアプランニングマトリックスを作成することが目的ではない。発達の視点や子どもの実態に即した指導・支援につながらなくては意味がない。
 - ・職業コースでは、高等部全体が職業コースという考え方で良いのではないか。その中で自分にあったコースを選ぶという方法も良いのではないか。
 - 【その他】
 - ・ホームページの更新では、学校行事などの情報をできるだけ早く掲載してほしい。
 - ・なんば・なにわ祭では、子ども同士の交流が少なかった。相互に交流できるような内容を検討してどうか。
 - ・先輩たちの卒業後の生活の様子などを保護者に伝えることで、今、何が必要かを考える機会となるのではないか。